

★ワークショップとは？

参加型の学習会のことです。

子どもワークショップでは、けっして子どもを怖がらせることのない楽しい雰囲気の中で、子どもたちは役割劇に参加したり、話したりしながら学習します。

おとなワークショップは、講師の話を聴きながら個々が思いをめぐらせたり、気持ちや意見を話していただいたりという構成になっています。どなたの意見も尊重されますので、安心してご参加いただけます。

★実際にワークショップの効果があるでしょうか？

防止教育の効果を数値で表すことは難しいのですが、ワークショップで学んだことを使って危険を回避できた、子どもの話を冷静に聴くことができたなどのたくさんの成功例があります。

サクセスストーリーとして全国のCAPグループからの情報が集まっています。

★ ワークショップ参加者の声 ★

おとなワークショップ

120分

- ・暴力について
- ・児童虐待について
- ・子どもの人権について
- ・子どものワークショップ模擬
- ・子どもへの支援の仕方

(話の聴き方など)

保護者の感想

- * あっという間の2時間でした。人権意識、大切にしたいと思います。
- * いじめが注目されています。その中で親も子どももやっていけることがあったので、勉強になりました。
- * 子ども達、先生、もっと多くの保護者に聞いてもらえたら、安心して暮らせる世の中になるので、もっと聞く機会が増えたらいいと思いました。

教職員の感想

- * とても解りやすく、内容も濃かった。子どもにもおとなにも必要なことなので、CAPをもっと多くの人に知ってほしいと思う。
- * 誘拐など、子どもにどう伝えればいいのか自分に自信がつき、少しでも理解してもらえるのではないかと安心も持った。
- * 保育士として親として、何度ワークショップを受けても、復習、そして考えさせられ、とてもためになっています。子どもたちに安心して過ごせる環境をつくってあげたいです。
- * つげ口と相談のちがいなど、子どもに説明するのにとてもわかりやすい表現であった。

小学生の感想

- * とてもながいしはなしだったけれど、おもしろかった。(6さい)
- * ひとのけんりをうばうことがよくない ということがよかった。(8さい)
(以下高学年)
- * いままでは、けんりというのはしっていたけど、ちょっとしたからかいから、その大事なけんりをうばってしまうのはよくないとあらためて思った。
- * 安心、自信、自由は少しでもイヤな気分になったりするだけで、不安になっ

たり、自信をなくしたりするけれど、でも人に相談したり、きっぱり断ったりすることで、不安をなくしたり、自信がついたりするんだと、考えられました。

* いやなときは、がまんしないで「いや」といえるような気がしてきました。

* 自分の気持ちを相手にきちんと伝えることが大切だと思いました。

* ぼくは、家まできりがけこうあるので、帰るときは連れて行かれるんじゃないか心ばいですが、でも、今日の話を聞いて、連れていかれそうになった時どうすればいいか分かったので、安心して帰れます。